

何も塗らずに寝れる、そんな石鹸

S・Dさん 34歳男性

私は中学3年の時にアトピーを発症しました。以来24年くらい通院生活が続いています。

大学や社会人となり一人暮らしを始めると、食事や生活環境の変化によりアトピーは悪化していきました。ひどい時は少し擦っただけで黄色い体液が出てくる始末でした。

当時は人の目が気になり、引きこもりがちになりました。

学生の際は出席日数が足らず留年しましたし、社会人になっても営業という職種柄、人に会わないわけにはいかないのですが休みがちになってしまい、営業職から内勤に移動になりました。

そのような事を繰り返していくと、自分はダメな人間で会社から必要とされてないと思いきなり軽いノイローゼになりました。

かなり神経質になり、行動範囲も視野も狭くなり、偏った物の考えをしていくようになってしまいました。

それでも、意を決して会社に向かうために電車に乗ろうとするのですが、怖くて乗れずホームをウロウロしていたら、ふっとこのまま電車に飛び込んだら…とさえ思い悩んでいました。

しかし、結婚と同時にステロイド治療をやめ、自然治癒に挑戦しました。食事から掃除に至るまで理解ある妻のおかげで徹底的にやりました。その頃は仕事に行けず、会社を長期的に休んでいましたので、高知県の有名な病院へ入院など、とにかく治療に専念しました。

私の場合、夏より乾燥する冬場が重症になりやすく、就寝前に顔や体に何も塗らずに寝たりすると100%翌朝は真っ赤になってしまいました。痒くて意識があるうちはどっかを掻いている状態になります。

その様な自然治癒療法も完治には程遠く、ステロイドの塗り薬を塗る生活が再スタートしました。月々の治療費負担も大変で、精神的にまったく余裕のない状況でした。

アトピーの場合、様々な治療に関する情報が氾濫しており、いかに自分の症状やライフスタイルに合う治療方法を選択するかで、その費用負担や健全な精神維持、行動範囲、人生設計が変わってきます。

私の場合特に最近出張が多く、乾燥しきったビジネスホテルに宿泊せねばならず、乾燥対策の「保湿」という難題に困っていました。

ところが、ある展示会でいりえ茶園さんと出会い後日お店に行きました。そこで勧められたのが「茶らら」という石鹸でした。社長から「アトピーの人には最適だよ」と言われ、試しに購入してみました。

早速入浴時に使ってみました。以前も石鹸やら入浴剤やら、健康補助食品やら使ってみて今まで大した効果もなかったのが今回も大したことないだろうと思ってました。

しかしこれが物凄いことになってしまいました。なんと洗髪から洗顔、体も全部この石鹸の泡で洗い、入浴後パジャマに着替えてすぐから、通常だと粉がふいたような、または衣類とのかさばり感があり、うんざりしてくるのに、それがありませんでした。「どうした、おれ？」と自分で自分の体をあちこち触り、乾燥具合を確かめました。

「まさかな」と疑いながらも、奥さんに「どうやった？」と聞いたら、妻はアトピーではありませんが「ツルツルしてる」と言っていました。

その夜は何も塗らずに寝れました。何も塗らずに寝れる夜が来るとは…。

健康な方は分かりづらいでしょうが、顔や体に軟膏を塗って就寝する不快感は実に嫌なものです。着替えやタオルの使用量も多くなるし、洗濯層の汚れも大変です。

ツルツルではないにしても、風呂上りに洗いたての下着を、何も塗らないでそのまま寝れる幸せは、3歳の娘から「チュッ」とほっぺにされても拒否しなくて済みます。

私はものすごい石鹸を作るいい人達に出会えたなあと、つくづく思いました。